

指定番号 1 <sup>だいえいじ</sup> 大英寺 <sup>ほんどう</sup> (本堂・表門) <sup>おもてもん</sup>

所在地	松代町松代
建築年代	本堂：寛永元年（1624） 表門：本堂と同時期
建築概要	本堂（木造平屋建、入母屋造、平入、本瓦葺） 表門（切妻、棧瓦葺、四脚門）
特徴等	<p>大英寺は、真田信之が夫人大連院の菩提のために建てた浄土宗の寺院である。縁起によれば、当初は上田城下に建立されたが、真田家の松代移封に伴い、寛永元年（1624）に現在地に建てられた。明治5年の寺院伽藍焼失に伴い霊屋を本堂としたものである。</p> <p>本堂は桁行5間、梁間5間の入母屋造で向拝が付く。天明5年（1785）の修理や明治以降の改造はあるが、柱や組物には極彩色が施された豪華な建物である。また真田家の霊屋の中では最大規模で、最古の建物である。</p> <p>表門は、切妻造棧瓦葺の四脚門であり、縁起によると寛永元年に霊屋（現本堂）移築と共に正門として造られたものとされる。部分的に改変を受けているが、扉を含めた部材の大部分は古く、本堂と同時期の建造年代と思われる。</p>
備考	県宝（建造物） 指定年月日：昭和41年10月3日



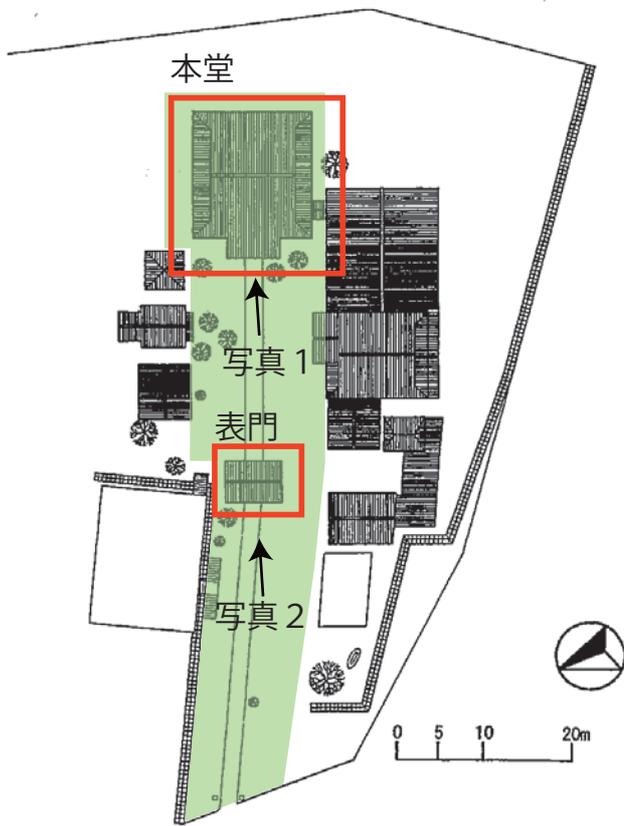
大英寺 案内図 S=1:5,000



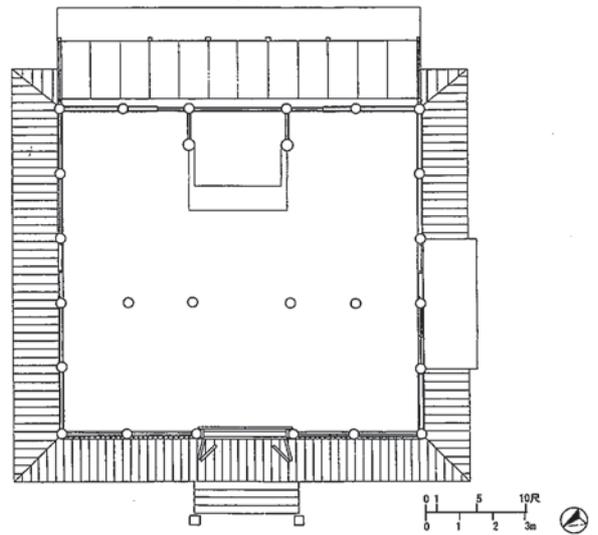
写真1 本堂外観



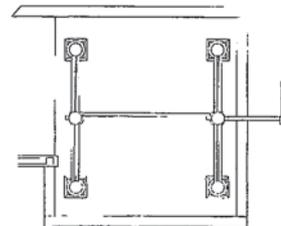
写真2 表門外観



- 歴史的風致形成建造物指定範囲
- 公開範囲（午前9時から午後4時まで）



大英寺本堂 平面図



大英寺山門 平面図

大英寺 配置図および平面図